

神戸山手グローバル中学校 (兵庫県神戸市) 「ミライ志向のオンリーワン校」

今年100周年を迎えた神戸山手女子中学校が、次の100年に向けた大改革として、2025年度からの共学化とグローバル化を発表しました。あわせて校名も「神戸山手グローバル中学校」に変更となります。激しい社会変化の中、ジェンダーレス化とグローバル化を軸に教育のあり方を検討し、インターナショナル・スクールの要素を持ち合わせた新時代対応の進学校という、これまでにないオンリーワン校を目指していきます。

海外ルーツの子どももアジアを中心に積極的に受け入れる予定で、そのために学生寮以上の設備を整えている学生マンションも用意されています。日本語に慣れていない海外ルーツの子どものために同時通訳イヤホンを活用し、数学や理科など、日本語では理解しづらい専門用語の多い教科も安心して受けられるよう準備がすすんでおり、早くもこの秋には中国から16名の転入生が入学予定です。

共学となるのが「グローバル選抜探究コース」。このコースは学校のグローバル化を見据えて昨年にスタートしています。英語の授業は週10時間以上

で、課外活動を含めるとインターナショナル・スクールに近いものになっています。担任は日本人とネイティブ教員の2名体制なのが特徴。中1段階でリスニング力は、CEFRに換算するとほぼ全員が高校生レベルとなっており、留学経験がなくても英検2級に合格する生徒も出始め、早くも成果につながっています。

学習面以外では、今年度加入率が100%になった活発なクラブ活動も注目点です。インターハイ常連の陸上競技部の他にも、人気のeスポーツを含むデータサイエンス部や広報部に加え、今年は新しくスポーツクライミング部や中国語部ができています。クラブ活動も貴重な教育の場と考える同校らしさが伺えます。共学化・グローバル化でさらに盛り上がることでしよう。

国際都市である神戸に誕生したオンリーワン校の「神戸山手グローバル中学校」。今から通えるミライの学校とも言えます。子どもたちが社会に出るころのミライを見据えた大きなチャレンジに期待しています。